

時の話題

第8回世界木材デー「World Wood Day」 2020年3月17日～22日東京で開催!!

**木材産業展示は3月17日～19日 東京流通センター2Fの270m²に
日本産材製家具・木製品及び技術関連団体・企業の出展決まる**

(一社)木の総合文化・ウッドレガシーアー推進協議会(LWCPC)原口博光会長は、国際木文化学会(IWCS)及び、ワールド・ウッド・デイ基金会(WWDF)との共同開催による「ワールド・ウッド・デー2020東京～ウッドレガシー～木の総合文化展」を、東京オリンピック・パラリン

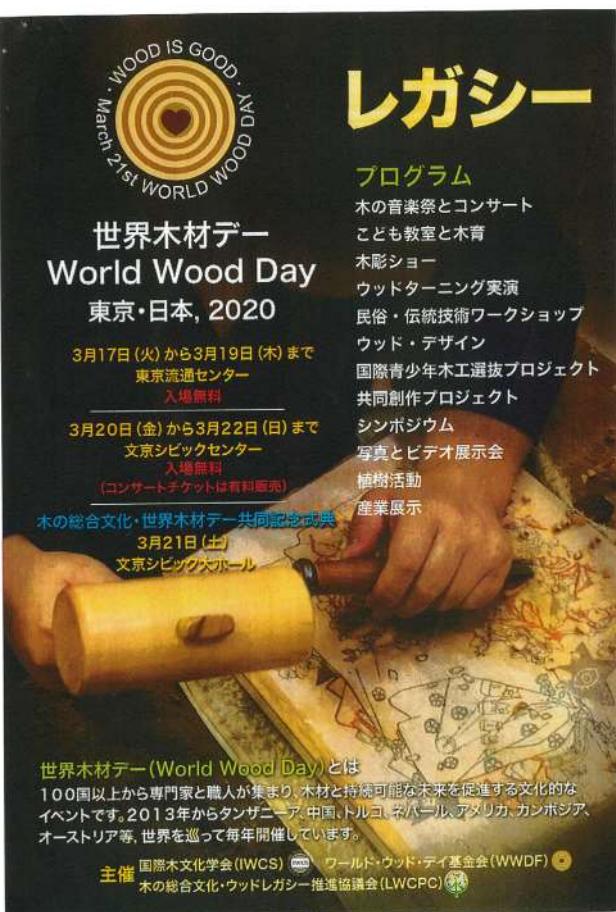
ピックが開催される2020年の3月17日(火)～19日(木)・TRC東京流通センター(東京都大田区平和島6)、3月20日(金)～22日(日)・文京シビックホール(東京都文京区春日1)の6日間に亘つて開催する。

「ワールド・ウッド・デー2020東京～ウッドレガシー～木の総合文化展」は、国連が定めた「国際森林デー」3月21日(土)を核とした日程での開催準備が進められ、木の総合文化・ウッドレガシーアー推進協議会が共催する事業として東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会により認証された「東京応援プログラム」の一つでもある。

木は良い「Wood is Good」をコンセプト

世界木材デーの2020年東京開催

2012年12月の国連総会において、毎年3月21日を国際森林デーとすることが決議、創設されたのを機に、国際木文化学会(IWCS)及びワールド・ウッド・デイ基金会(WWDF)では、「Wood is Good」(木は良い)をコンセプトに、世界各国で「World Wood Day」「世界木材デー」イベントを開催してきた。2013年にタンザニアでの初回イベント開催を皮切りに、2回目2014年中国、3回目2015年トルコ、4回目2016年ネパール、5回目2017年アメリカ、6回目2018年



レガシー

プログラム

- 木の音楽祭とコンサート
- こども教室と木育
- 木彫ショーウィンドウ
- ウッドターニング実演
- 民俗・伝統技術ワークショップ
- ウッド・デザイン
- 国際青少年木工選抜プロジェクト
- 共同創作プロジェクト
- シンポジウム
- 写真とビデオ展示会
- 植樹活動
- 産業展示

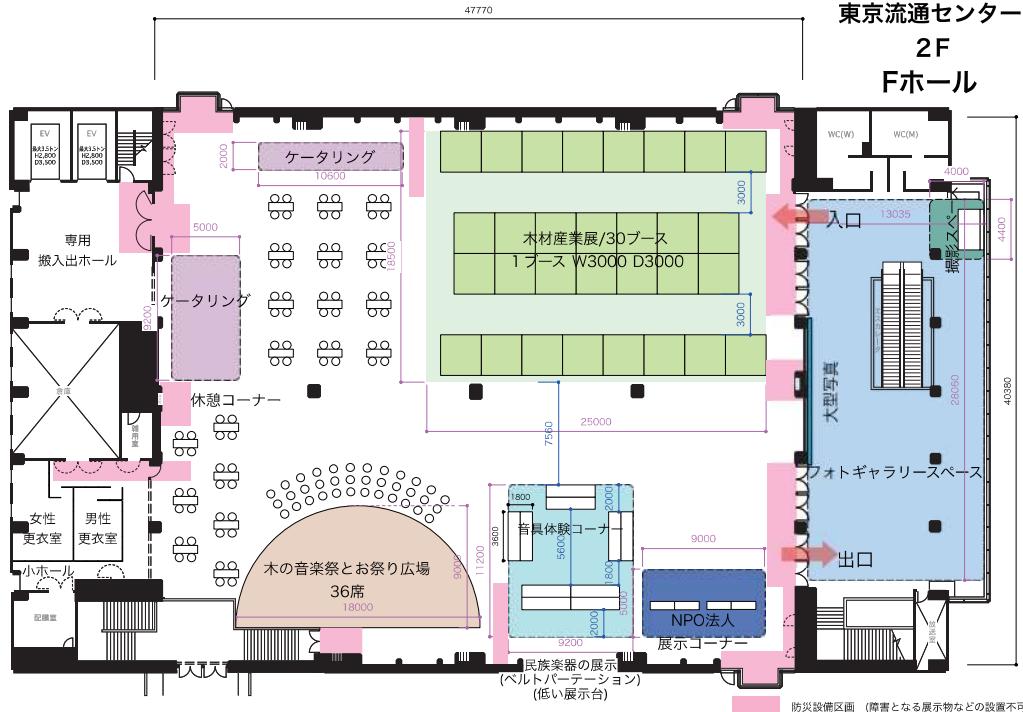
東京～ウッドレガシー～木の総合文化展」を、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の3月17日(火)～19日(木)・TRC東京流通センター(東京都大田区平和島6)、3月20日(金)～22日(日)・文京シビックホール(東京都文京区春日1)の6日間に亘つて開催する。

「World Wood Day」(世界木材デー)の大会イベントを東京で開催することを提起し、途中一部の会員の脱退等の困難を克服してこの程、World Wood Day主催者の国際木文化学会(IWCS)と開催へ向けての覚書を取り交わし、「ワールド・ウッド・デイ」(World Wood Day)と開催へ向けての覚書を取り交わし、「ワールド・ウッド・デイ」(World Wood Day)東京・日本・2020は、「2020東京～ウッド・レガシー～木の総合文化展」共催の運びとなつた。

世界木材デー(World Wood Day)の文化祭」と銘打ち、他方、文京シビックホールでは「木の音楽祭」として関連展示会、ワークショップ、音楽演奏、パフォーマンス等が繰り広げられる。

カンボジア、7回目2019年オーストラリアと開催を続ける中で、参加国も年々増え昨年は100カ国余となつている。即ち、世界100カ国以上から木の専門家と職人たちが一堂に集まり、関連するワークショップや展示等を通じて、木材と持続可能な未来を促進する文化的な交流イベントこそが「World Wood Day」であり、2020年の東京開催で第8回目となる。

(一社)木の総合文化・ウッドレガシーアー推進協議会(原口博光会長)は、2020年夏に日本・東京でオリンピック・パラリンピックの開催が決まり、関連施設に多数の木造施設が建設される経緯から、第8回目となるWorld Wood Day(世界木材デー)の開催を東京で開催することを提起し、途中一部の会員の脱退等の困難を克服してこの程、World Wood Day主催者の国際木文化学会(IWCS)と開催へ向けての覚書を取り交わし、「ワールド・ウッド・デイ」(World Wood Day)と開催へ向けての覚書を取り交わし、「ワールド・ウッド・デイ」(World Wood Day)東京・日本・2020は、「2020東京～ウッド・レガシー～木の総合文化展」共催の運びとなつた。



▲東京流通センター2階Fホール 緑のスペースが木材産業展示

世界製品・家具を中心とした展示会へ情報発信

「東京ウッド・レガシー」木の総合文化展は都合上、3月17日(火)～19日(木)の3日間は東京都大田区平和島6の「東京流通センター(TRC)」で開催、3月20日(金)22日(日)の3日間は東京都文京区春日1の「文京シビックホール」の2会場で開催される。

イベント内容の全體詳細はここでは省くが、中でも(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会が取り仕切る「木材産業展」は、20

20年3月17日(火)～19日(木)まで東京流通センターの2階Fホールで開催され、また一部滋賀県東近江市が発祥とする木工ろくろの実演展示は2020年3月20日(金)～22日(日)まで文京シビックセンターで披露されることとなる。

さて、木材産業展は「日本産材を使った家具・建具・木製品」を主なコンセプトに展出される。カリモク家具(株)(愛知県)、(株)日本窓(青森県)、日高機械(石川県)、日新興産(株)(東京都)の企業の他、(一社)木の総合文化・ウッドレガ



▲日本産材を活用した窓枠(日本の窓)

デー」の東京開催に尽力して提案する。2020年に「世界木材デー」の東京開催に尽力し、日本産材の利用で低炭素社会の実現を、木材活用産業の展示と合わせて提案する。



▲日本産材を活用したパーテーブル&スツール(カリモク家具)

曲面縁貼り作業の効率を上げたい。



《主な取扱品目》

- 自動・手動縁貼機、複合縁加工機
- 各種自動パネル切断機
- NCボーリング・複合加工機
- 上記以外の各種輸入木工機械
- 梱包・結束機械



☆お問い合わせ・ご用命お待ちしております!

欧・米・アジア製木工機械・産業設備の輸入・設置・メンテナンス
株式会社マシン・トレーディング
〒344-0062 埼玉県春日部市粕壁東5丁目15-38
電話 048-763-2011 eメール mail@mtc-ltd.jp
ファックス 048-763-2066



▲5大木の総合文化振興を語る木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会原口博光会長

共催者でもある（一社）木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会の原口博光会長は、「2020年の東京オリンピック・パラリンピック行事は、日本独自の『木の文化』を発信するショーウィンドーとしての機能を果たし、新国立競技場の建物は『杜のスタジアム』として木材の活用を図ることで低炭素社会を目指す、環境を重視した大会でもある。

私ども木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会は、環境の見地から林業・木材産業に関係する川上・川中・川下の団体等の連携・協議を密に行ない、日本産材の振興を図り、成長産業化する政策の立案、及びその効果的実施について、国民の目線、企業の視点で提案して行きたいと思つてている。

自然環境に大きな影響を及ぼす、大気中の二酸化炭素削減の役割が森林率67%の日本が世界に先駆けて、地球温暖化対策の推進に取組む意義がある。

第8回目となる世界木材デーが東京オリンピックイヤーに盛大に開催さ

れ、「木は良い」イベントを通して、大人から子供まで幅広く木の総合文化が伝わり、国民に木を知つて、身近に感じてもらうことが、木材の断熱性、保湿性、調湿など、私達の生理や情緒に作用することを理解して頂きたいと思っている。

特に今後、こうした取り組みによって青少年が木に興味を持ち、将来、木の研究者や木造建築物の建築家を目指す人材育成に繋がつていけば幸いである。

私たち木に関わる大人に課せられた大きな目標を達成して行く為には、環境の見地から昔から守ってきた森林文化、木を育てる文化、木を使用する文化をもう一度見直し、日本産材の利用と活性化に努めていくことが大事な取組題であると考え、日本産家具・建具、木製品を国内外に普及するために大いに寄与したい」と、日本・東京での「世界木材デー」の盛り上げを各界各層に要請した。

「木を植えるために、伐る文化」「木を育てる文化」「木を適材適所に造材し加工し、使う文化」「森林の恵みをレジャーレジャーとして楽しむ文化」「自然の恵みに感謝をして神々にお祈りする文化を達成しよう」と云う木の5大木の総合文化が世界木材デーの世界的イベント等を経て振興・推進され、サステイナブル社会の理念として浸透することが強く期待されている。

を通じて、大人から子供まで幅広く木の総合文化が伝わり、国民に木を知つて、身近に感じてもらうことが、木材の断熱性、保湿性、調湿など、私達の生理や情

■ワールド・ウッド・デー2020東京～ウッドレガシー～木の総合文化展

日時場所：2020年3月17日(火)～19日(木)（株）東京流通センター（TR C）／東京都大田区平和島6-1-1
会場：文京シビックホール／東京都文京区春日1-16-21
主催：国際木文化学会（IWCS）
共催：（一社）木の総合文化・ウッド・デー基金會／ワールド・ウッド・デー2020東京実行委員会
後援：環境省、経済産業省、国土交通省、林野庁、全国森林組合連合会、東京都大田区

特別顧問：Mike Hou（マイク・ホー）国際木文化学会／WWWD基金會本部ディレクター
大会会長：Mike Hou（マイク・ホー）国際木文化学会／WWWD基金會元会長・木材接着学
副会長：内佐斗司（東京藝術大学名誉教授）
副学長：松尾祐孝（洗足学園音楽大学教授、作曲家）
副实行委員長・事務局長：高橋由貴子（東京伝統木版画工芸協同組合理事長／江戸木版画）
本部連携担当委員：Charles Lee（シャルロッテ・

リー／国際木文化学会本部オペレーター、シヨンマネージャー）

実行委員：服部順昭（東京農工大学名譽教授／日本木材学会元会長／日本木材加工技術協会会长／木材加工機械学／シンポジウム）、原口博光（一般社団法人木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会会长）、浅田茂裕（埼玉大学教育学部教授、木育プロデューサー）、伊東隆夫（京都大学名誉教授／シンポジウム）、楊萍（熊本大学教育学部教授／木材質材化学）、斎藤晃顕（一般社団法人木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会理事長／箏奏者）、小林能理子（一般社団法人日本和樂器普及協会理事長／箏奏者）、田子和則（一般社団法人木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会理事長／事務局長）、吉野崇裕（工房木夢創立者／ウッド・デザイン）、斎藤佳奈（株式会社ピーアールラボCEO）、インスペクター／斎藤佳奈（株式会社TOKYO SHAMI 代表取締役）、立花茂生（特定非営利活動法人全國邦樂合奏協会理事／尺八演奏家）、三浦利一（一般社団法人日本和樂器普及協会広報担当）